

国立駅周辺 整備事業 の現在 (2019 改訂版)



令和元（2019）年8月
国立市

はじめに

国立市は、ＪＲ中央線連続立体交差事業に伴う国立駅南北の一体化を、人を中心にした個性あるまちづくりを行う好機と捉え、平成 21（2009）年 11 月に「国立駅周辺まちづくり基本計画」（以下、基本計画）を策定いたしました。

基本計画策定後、市民参加の国立駅周辺まちづくり会議を設け、駅前広場のあり方などを検討し、基本計画に記された事業の実現に向けた、関係者、関係機関との協議などの取り組みを進めてまいりました。

その結果、旧国立駅舎再築事業等の公共施設整備事業に関しては、平成 27（2015）年 4 月に都市再生整備計画に基づく社会資本整備総合交付金対象事業として国に採択されるとともに、国立駅周辺の道路整備事業に関しては、東京都の市町村土木費補助の支援を受けられることとなりました。

現在、基本計画に位置付けられた事業が続々と動き出しています。公共施設整備事業のひとつである国立駅東側の高架下市民利用施設は、広域連携のひとつのモデルとして、国分寺市と共同で平成 30（2018）年 5 月に開設されました。また、道路事業のひとつである北口駅前広場は、平成 31（2019）年 3 月に完成し、新たな歩きやすい空間として利用可能になりました。令和元（2019）年度は、北 1 号線の歩道拡幅に向けて無電柱化をするための電線共同溝工事を行います。そして「くにたちのシンボル」を復活させる旧国立駅舎再築事業は平成 30（2018）年 6 月に着工し、令和 2（2020）年 4 月の開設を目指して工事を進めております。

本冊子は、基本計画策定からの経緯を振り返り、国立駅周辺整備事業が現在どのような計画となっているのか、どのように整備されるのかをお伝えする冊子です。広く市民の皆様にご確認いただけると幸いです。

国立駅周辺整備事業は、多くの市民、議会、関係機関、関係事業者の皆様のご理解、ご協力により進められているものです。改めて感謝を申し上げますとともに、引き続きご理解、ご協力をたまわりますようお願いいたします。

これからも多くの人に愛され、住みたいまち、住み続けたいまちとして発展を続けていくよう、まちづくりを行ってまいります。

令和元（2019）年 8 月 国立市

1. これまでの経緯

(1) 国立駅周辺まちづくり基本計画

- ・国立駅周辺地域は、国立市の上位計画で、国立市の玄関口として重要な地域として位置付けられています。国立駅周辺のまちづくりを進めていくにあたっての基本的な方向性を示す「国立駅周辺まちづくり基本計画」を平成 21（2009）年 11 月に策定しました。
- ・基本計画ではまちづくりの理念を
－まちと人がつながる、緑と文化のくにたち広場－
とし、以下の 5 つをまちづくりの目標として定めています。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①市民が集い、来訪者を迎え、にぎわいと交流のあるまちづくり②人にやさしい、安全で安心な環境作りや環境負荷低減のまちづくり③駅周辺の景観とシンボルをいかしたまちづくり④個性的なまちなみを生かした回遊性のあるまちづくり⑤出会いと発見、文化を発信するまちづくり |
|---|

- ・この計画に基づき、以降、事業内容の検討、決定を行ってまいりました。

(2) 国立駅周辺まちづくり会議

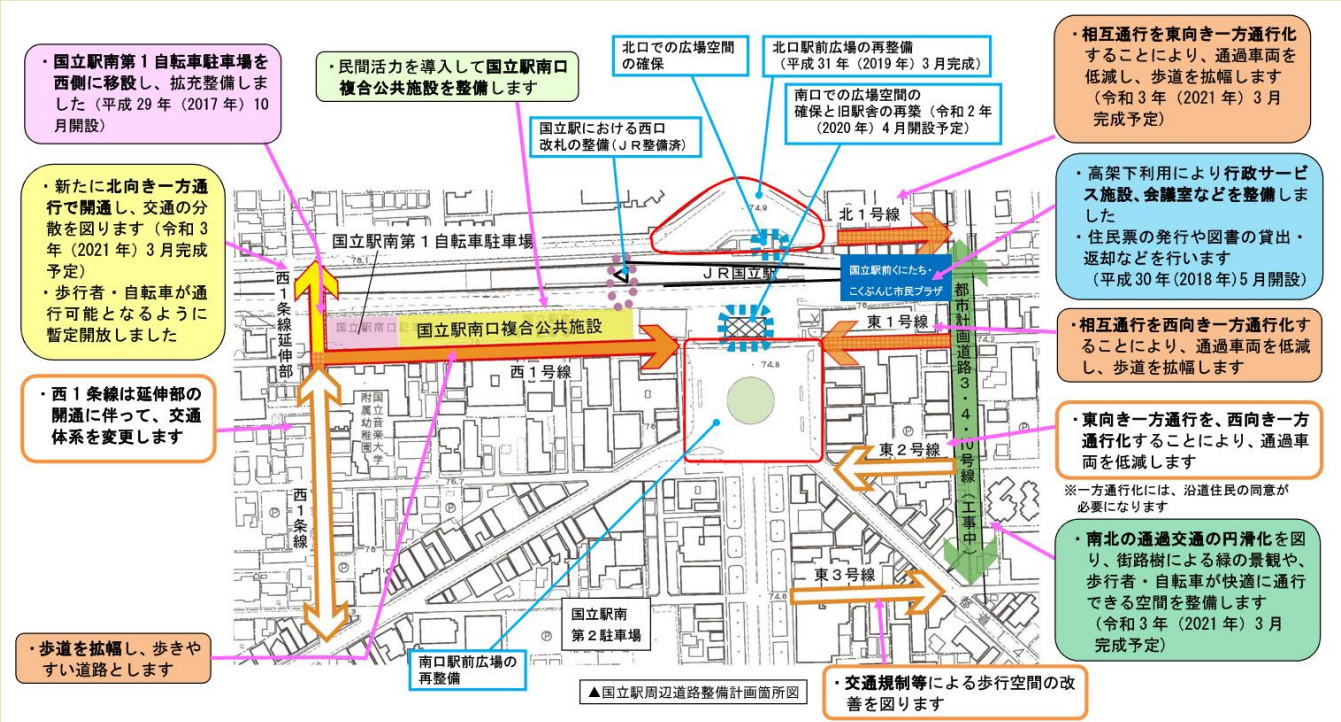
- ・国立駅周辺の整備事業を推進するために、多岐にわたる事業を一貫してコーディネートしていくことを目的に、市民や学識経験者、関係機関等が一堂に会して事業を検討できる組織として、国立駅周辺まちづくり会議（以下、まちづくり会議）を設置し、関係機関との協議に向けた条件整理等の検討を行いました（公募市民 4 名を含む 12 名の委員）。
- ・まちづくり会議は、平成 22（2010）年 8 月から平成 25（2013）年 9 月まで開催され、国立駅南北駅前広場の整備方針、国立駅周辺の交通計画、旧国立駅舎再築を含めた国立駅周辺の景観のあり方、国立市が利用可能な高架下部分の活用方法等を検討しました。
- ・それを受けて、以後の関係機関との協議、事業展開に向けた補助金申請等、事業の具体化については市に委ねられることになりました。

(3) 個別事業の具体化の検討、決定

- ・国立駅周辺の交通計画は、交通管理者との協議を段階を分けて行い、平成 27（2015）年 4 月に北口駅前広場、北 1 号線、西 1 号線、西 1 条線（延伸部含む）の協議を終了し、平成 28（2016）年 1 月に南口駅前広場、東 1 号線の協議を終了しました。
- ・北口駅前広場整備事業は、平成 31（2019）年 3 月に完了しました。
- ・都市計画道路 3・4・10 号線整備事業は、用地取得が完了し、平成 30（2018）年度には電線共同溝設置工事等を行いました。令和元（2019）年度は、翌年度の道路築造工事に向けて詳細設計等を行います。
- ・旧国立駅舎再築事業は、土地所有者である J R 東日本のご協力のもと、平成 29（2017）年 2 月に用地売買契約を締結し、平成 30（2018）年 6 月に工事着手しました。
- ・高架下市民利用施設整備事業は、広域連携の観点から、共同で施設を設置するための国分寺市との協議、平成 29（2017）年度の整備工事を経て、平成 30（2018）年 5 月に施設が開設しました。
- ・南口複合公共施設整備事業は、平成 27（2015）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画（素案）」の策定、パブリックコメント等を行い、平成 28（2016）年に「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」をまとめました。平成 29（2017）年は事業者ヒアリング等を行いました。

2. 国立駅周辺整備における各事業の整備内容

(1) 国立駅周辺道路整備事業



【整備の考え方】

- ・国立駅周辺を歩きやすい空間とするため、道路の一方通行化を行い、歩道を拡幅します。
- ・また、国立駅周辺の交通体系を変更することで国立駅前の通過交通を低減します。
- ・都市計画道路3・4・10号線、北1号線、東1号線については、電線共同溝を整備し、電線を地中化することで、良好な道路環境とします。
- ・これまでに国立駅周辺まちづくり会議で議論し、交通管理者と協議してきた広場計画等の内容を踏まえ、国立駅周辺全体の交通規制のあり方について、整備に向けた協議を行います。
- ・これまでの関係機関等との協議を踏まえた整備の予定は、以下のとおりです。

○整備実施路線：3・4・10号線、北1号線、東1号線、西1号線、西1条線、西1条線延伸部

○整備検討路線：東2号線、東3号線

※整備検討路線については、路線断面の大幅な変更がないため、道路の損傷状況や財源を見据えて、今後、整備手法の検討を行います。

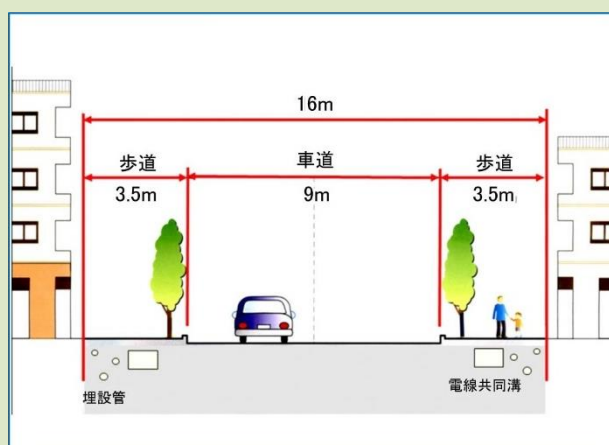
【整備スケジュール（予定）】

- ・都市計画道路 3・4・10 号線 : 平成 30（2018）年度 ～ 令和 2（2020）年度
- ・北 1 号線 : 令和元（2019）年度 ～ 令和 2（2020）年度
- ・西 1 号線 : 令和 3（2021）年度
- ・西 1 条線延伸部 : 令和 2（2020）年度
- ・西 1 条線 : 令和 5（2023）年度
- ・東 1 号線 : 令和 3（2021）年度 ～ 令和 5（2023）年度
- ・東 2 号線 : 令和 5（2023）年度
- ・東 3 号線 : 令和 5（2023）年度

■整備後の北 1 号線（北口駅前商店街沿い）のイメージ



■整備後の都市計画道路 3・4・10 号線のイメージ



■整備後の東 1 号線のイメージ



（２）国立駅南北駅前広場整備事業

①北口駅前広場整備事業



■整備後の北口駅前広場

【整備の考え方】

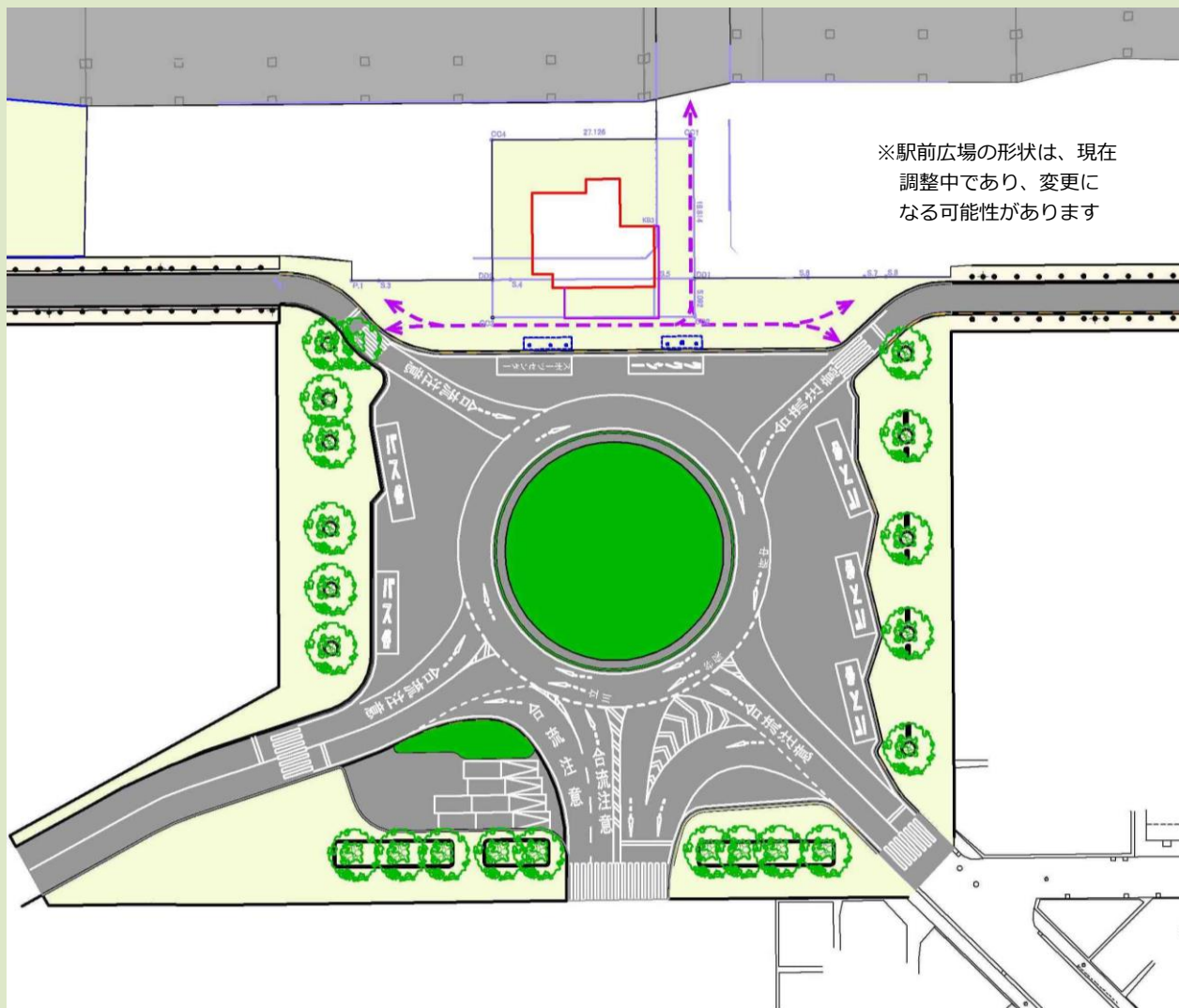
- ・北口駅前広場は自動車動線を整理し、歩行者の横断距離を低減することで安全性の向上を図りました。
- ・ラチ外コンコース（通称、南北通路）前に環境空間となる広場を整備して、「北口駅前広場－旧駅舎－南口駅前広場の一体化」を図りました。
- ・北1号線の歩道拡幅やＪＲ東日本の整備による歩行空間「ののみち」と併せて、国立駅周辺の回遊性が高まります。
- ・駅側のバス停にもシェルターを整備することで、雨天時等のバス待ちがしやすくなりました。

【整備スケジュール】

- ・平成31（2019）年3月完成



②南口駅前広場整備事業



【整備の考え方】

- ・南口駅前広場はロータリー形状を維持したまま、歩行者空間を拡大します。また、交通動線を整理して安全性を高め、バリアフリー対応とします。
- ・円形公園の活用については、イベント時等、非日常的に市民が立ち入り可能となるように検討、協議を行います。
- ・バス停は車いす等でも乗降可能なように、ロータリーの外周に設けることとします。
- ・これに伴い、乗降のバス停が同じ位置となります。

【整備スケジュール（予定）】

- ・令和 5（2023）年度 ～ 令和 7（2025）年度

(3) 国立駅周辺公共施設整備事業

①各施設の整備コンセプト



- ・国立駅周辺には、旧国立駅舎、南口複合公共施設、高架下市民利用施設を整備し、国立駅周辺だけでなく、国立市全体の魅力を高めます。
- ・上図のとおりエリア別に各施設のコンセプトを設定し、機能を配分して整備します。

②旧国立駅舎再築事業



【整備の考え方】

○旧国立駅舎の配置と景観

- ・旧国立駅舎再築用地の周辺は、都市計画マスタープランで都市拠点として位置付けられています。また、国立市景観形成基本計画に基づく都市景観形成重点地区候補地に位置付けられています。
- ・旧国立駅舎は大正 15（1926）年の創建当時の姿に文化財として再築します。これにより、みんなに親しまれ、まちの魅力を高めるくにたちのシンボルが復活します。再築イメージは上図のとおりです。
- ・旧国立駅舎再築用地に隣接する用地に事業の計画がある場合は、国立市まちづくり条例及び国立市都市景観形成条例に基づき、市のまちづくりに関する施策に照らし、旧国立駅舎の再築を前提として、国立の玄関口として景観に配慮し、市民が集い来訪者を迎え、にぎわいのある駅前とするための助言・指導を行うなど、隣接地所有者である JR 東日本と協議します。

【整備スケジュール】

- ・平成 30（2018）年度 ～ 令和元（2019）年度

○旧国立駅舎の再築用地について



- ・再築用地は、旧国立駅舎の周囲に建物の壁から約 5mの空間を確保した約 648 ㎡の土地です。
- ・そのうち、約 138 ㎡はもともと市が所有していた土地で、残り約 510 ㎡は、J R 東日本のご協力により、平成 29（2017）年 2 月に取得した土地です。
- ・再築位置は、駅周辺の歩行者動線の検討や J R 東日本との協議の結果、元の位置から西方向に約 3m、南方向に約 5m移動した位置とし、駅利用者の歩行者動線を阻害しない場所としています。

○旧国立駅舎の内観イメージ



▲内観イメージ(広間)



▲内観イメージ(まち案内所)



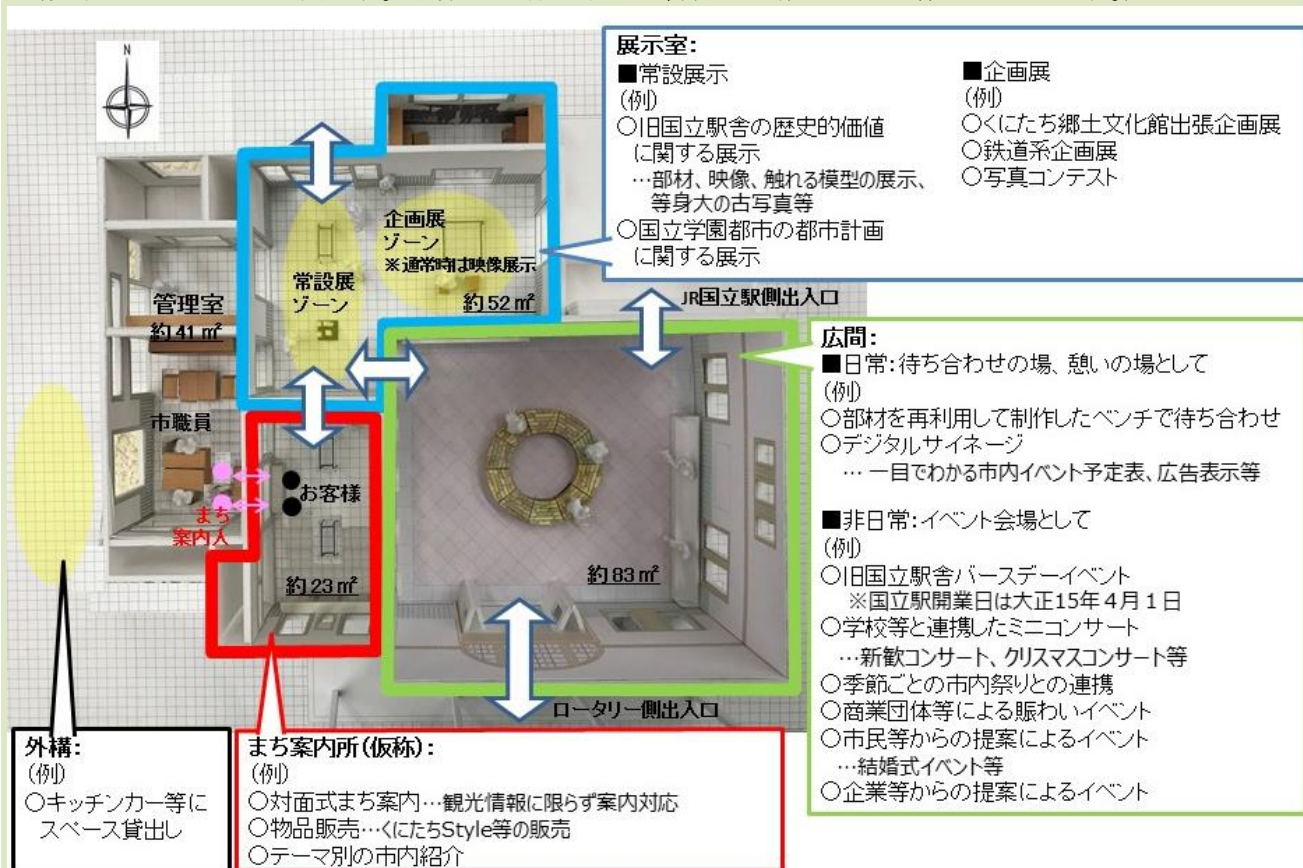
▲内観イメージ(展示室)

○旧国立駅舎の活用について

- ・くにたちの魅力を発信する拠点として活用します。
- ・「広間」、「まち案内所」、「展示室」を整備します。活用イメージは下図のとおりです。
- ・イベント等の開催場所として活用します。旧国立駅舎の利用を希望される市民団体や企業等からの企画提案も適宜お受けします。
- ・開設後数年程度は市直営（まち案内所は業務委託）とします。
- ・活用方法や管理運営に関して意見交換を行う外部組織を設立します。

活用イメージ図

（以下はあくまでも一例です。事業の内容は市民の皆様と一緒に作っていきます。）



■活用コンセプト

市内外の人々が集う交流拠点
 さまざまな出会いが生まれる
「まちのラウンジ」
 市内情報発信・回遊性の向上
 まちの魅力が集まり広がる
「くにたちと出会う玄関口」
 文化の発信
 文教都市にふさわしい
「歴史・文化・芸術の発信拠点」

■活用キャッチフレーズ

三角屋根で“まちあわせ”

元々の駅舎としての機能の一つに「待ち合わせ」があります。これに「まち全体をつなぐハブ機能」や「まちの情報発信機能」といった、くにたちのまちと出会う「街あわせ」という意味を込めました。

※平成29年3月「旧国立駅舎活用方針報告書」より。

②南口複合公共施設整備

【整備の考え方】

- ・平成 29（2017）年 2 月にまとめた「国立駅南口複合公共施設整備基本計画」に基づいて整備します。
- ・以下の 3 項目を整備方針としています。
 - ①人を“もっと集める”ための「賑わい創出」
 - ②市民が「子育て」「文化」を“もっと広げる”ための居場所づくり
 - ③市民を“もっと支える”ための「文化・交流」機能の導入
- ・公共施設部分における導入予定機能は、①子育て支援機能、②多目的ホールです。

【整備スケジュール（予定）】

- ・未定

③国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ（高架下市民利用施設）整備

【整備の考え方】

- ・「国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ」は、「市民生活」をコンセプトとして、国立駅の東側高架下（nonowa 国立 EAST の東側）に整備された施設です。
- ・平成 28（2016）年 4 月に国分寺市と「国立駅東側高架下市民利用施設等の整備・利用事業に関する基本協定書」を締結し、広域連携のひとつのモデルとして、国分寺市と共同で整備しました。
- ・各種証明書の発行や予約図書の引き渡しなどを行う市民サービスコーナー、くにたち男女平等参画ステーション（愛称「パラソル」）、オープンスペース等の機能を有しています。
- ・オープンスペースは、市民交流イベント等を行うことができます。

【整備スケジュール】

- ・平成 30（2018）年 5 月 14 日オープン

■施設概要

所在地 国立市北 1-14-1

開館時間 平日：午前 8 時 30 分～午後 10 時

土・日曜・祝日：午前 9 時～午後 10 時

閉館日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

■市民サービスコーナー

利用時間 平日：午前 8 時 30 分～午後 7 時

休館日 土・日曜・祝日

■男女平等参画ステーション(愛称「パラソル」)

開館時間 平日：午前 10 時～午後 7 時

土・日曜・祝日：午前 9 時～午後 5 時

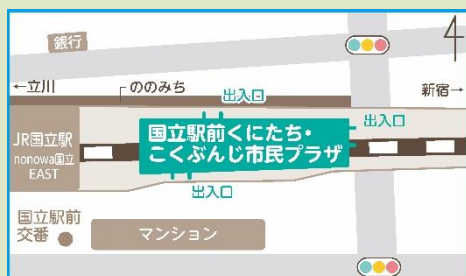
休館日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）



▲市民サービスコーナー



▲オープンスペース



3. 事業スケジュール予定

事業	年 度						
	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
西第1号線整備							
西第1条線整備							
西第1条線延伸部整備							
北第1号線整備							
東第1号線整備							
東第2号線整備							
東第3号線整備							
国立駅北口駅前広場整備				整備完了			
国立駅南口駅前広場整備							2025年まで
旧国立駅舎再築							
国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ		整備完了					
国立駅南第1自転車駐車場整備		整備完了					
南口複合公共施設	未定						
3.4.10号線(南)整備							
3.4.10号線(北)整備	南工区の進捗及び経済動向を勘案し着手時期を決定します。						

表紙写真

右列上段：大正 15(1926)年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）

右列中段：昭和 39(1964)年頃・国立駅前の様子（くにたち郷土文化館所蔵）

左列上段：平成 15(2003)年頃・国立駅前の様子

右列下段：平成 29(2017)年・国立駅前の様子

左列下段：令和 元(2019)年・国立駅前の様子（旧国立駅舎再築工事の様子）

編集／発行：国立市都市整備部国立駅周辺整備課

電話：042-576-2111 内線 382・383